

EasyMatch Quality Central ユーザー マニュアル



ハンター・アソシエイツ・ラボラトリー

11491 Sunset Hills Road Reston,
Virginia 20190 USA
www.hunterlab.com

A60-1021-998

マニュアルバージョン 2.0

2026.4 (2.48.7) 以降

はじめに

著作権および商標

このドキュメントには、Hunter Associates Laboratory, Inc. の専有情報が含まれています。Hunter Associates Laboratory, Inc. の書面による明示的な同意なしに、その全部または一部を複製することは禁じられています。

EasyMatch、Agera、Vista、および ColorFlex は、Hunter Associates Laboratory, Inc. の登録商標です。

Windows は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。

安全上の注意

色測定機器を安全にご使用いただくため、本ユーザーマニュアルの「ハードウェア」の項に記載されている以下の種類の注意事項にご注意ください。各説明は、それぞれを区別しやすい書体で表示されています。



注意：HunterLab が指定していない方法で本機器を使用すると、本機器が提供する全体的な安全性および保護機能が損なわれるおそれがあります。本機器は屋内専用であり、湿気の多い場所での使用には適していません。

。

HunterLab製機器を使用する際の安全のため、本ユーザーマニュアル内の以下の種類の記述に注意してください：

- 機器の操作中は常に遵守すべき一般的な安全上の指示。
- その注意書きが記載されている箇所で説明されている機器の操作方法に不可欠な、具体的な安全上の指示。
- 製造元が指定していない方法で本機器を使用すると、機器が提供する保護機能が損なわれる可能性があります。
- 液体をこぼした場合、感電の危険があり、揮発性または可燃性の液体をこぼした場合は火災の危険があります。液体試料を測定する際は注意してください。

法的免責事項：機器による視覚評価

HunterLab の比色分光光度計は、色および外観の精密測定用に設計されています。各機器は、数値的な色および関連データを絶対的および相対的な基準で測定します。HunterLab は、機器の測定値に内在する不確実性、試料の状態によるばらつき、および人間の色覚における潜在的な不一致のため、データの正確性、完全性、有効性、および適時性を保証することはできません。各ユーザーは、綿密な目視評価によって機器のデータを確認することを強く推奨します。

責任の免責：データ、メタデータおよび情報の利用

Hunter Associates Laboratory, Inc.（その従業員、代理人、および譲受人を含む）は、当社の分光測色計から得られたデータ、または本資料に含まれる情報の利用に起因する結果について、また、誤りや脱落、事実上または科学的な仮定・研究・結論の正確性または妥当性、陳述の誹謗中傷的性質、著作権またはその他の知的財産権の帰属、ならびに他者の財産権、プライバシー権または人格権の侵害を含みますが、これらに限定されません。ハンター・アソシエイツ・ラボラトリー社は、当該データおよび／または情報の使用、参照、または依存に起因するいかなる種類の損害についても責任を負わず、すべての責任を明示的に否認します。ハンター・アソシエイツ・ラボラトリー社は、当該データおよび／または情報に関して、商品性または特定の用途・目的への適合性に関する明示的または黙示的な保証を含むがこれらに限定されない、いかなる保証も行いません。

目次

序文.....	2
著作権および商標.....	2
安全上の注意事項.....	2
目次.....	5
EASYMATCH QUALITY CENTRAL の使い方入門	7
EasyMatch Quality Centralとは？	7
EasyMatch Quality CentralをインストールするためのPC要件	8
開始する前に	8
機器でライセンスを有効にする.....	8
PCにQuality Centralソフトウェアをインストールする	9
PCと計測器を同じネットワークに接続する	10
ライブラリの設定.....	11
PCライブラリ	12
楽器ライブラリ	14
「Measure」 ボタンー PCライブラリおよびインストールメントライブラリ	16
接続ステータスインジケター	18
ライブラリ、ワークスペース、ジョブ、および測定データ	21
ライブラリ.....	21
PCライブラリ	21
EasyMatch QC インポート	22
機器ライブラリ	22
ワークスペース.....	23
ジョブ.....	25

QUALITY CENTRAL のウィンドウとデータビュー	26
高品質な中央ウィンドウのレイアウト	26
データビュー	27
データ出力	30
コピーと貼り付け	30
測定値のエクスポート	30
.csv または .txt としてエクスポート	31
PDFとしてエクスポート	31
設定	33
更新を確認	33
連携機能	35
Quality Centralの設定	37
外観	37
遠隔測定	37
データ保存	38
機器の検出	38
機器の設定	40
図	42
索引	44

EasyMatch Quality Central のはじめ方

EasyMatch Quality Centralとは？

EasyMatch Quality Centralは、すべてのEssentials L2内蔵型測定器（Agera L2、ColorFlex L2、Essentials L2搭載のVista、およびVista L2）と連携するように設計されたPC用アプリケーションです。測定器データ、ワークスペース、ジョブ、測定結果、エクスポート、および連携機能への一元的なアクセスを提供し、測定器間で効率的かつ一貫性のある品質管理ワークフローを実現します。

Quality Centralでは、測定データを整理・保存する方法として以下の2つが用意されています：

- ローカルライブラリ（[追加] > [新しいPCライブラリ] または [EasyMatch QCからインポート]） — ワークスペース、ジョブ、および測定データはPC上にローカルで作成・保存され、機器にはデータが書き戻されません。PCライブラリは新規に作成することも、従来のEasyMatch QCの.jsdファイルからインポートすることもできます。同じセンサータイプの複数の機器を接続し、同じPCライブラリに対してリモート測定を行うことが可能です。
- 機器ライブラリ（+ 追加 > 機器ライブラリの追加） — ワークスペース、ジョブ、および測定データは機器上に保存され、Quality Centralと自動的に同期されます。複数のPCから同じ機器データにアクセスできます。Quality Centralで行われた変更は、即座に機器に反映されます。

いずれの場合も、Quality Centralは機器に接続してリモート測定を行うことができ、ユーザーはPCから直接標準化や測定を実行できます。接続されると、Essentials L2にはQuality Centralからの最新のEZ-Viewデータを表示する「リモートモード」画面が表示されます。

ワークスペースは、標準品、許容差、インデックスの設定を含め、Quality Central上で直接完全に編集できます。また、Quality Centralは、異なる設定を持つ同じタイプのビューを複数表示するなど、複数のタイルを同時に表示する柔軟なデータビュー設定もサポートしています。

測定データは、複数の形式（.csv/.txt および PDF）でエクスポートできます。また、WorkSpaces を測定器間で共有することで、複数のデバイスにわたって一貫したセットアップを実現できます。

EasyMatch Quality Centralは、電子記録（ER）およびEasyGroup機能もサポートしています。詳細については、それぞれの補足マニュアルを参照してください。

EasyMatch Quality Centralのインストールに必要なPC環境

お使いのコンピュータが以下の最小要件を満たしていることを確認してください：

表1：コンピュータの最小要件

オペレーティングシステム	Windows 10（64ビット）、Professional または EnterpriseWindows 11（64ビット）、Professional または Enterprise
プロセッサ	1.5ギガヘルツ（GHz）以上、64ビット（x64）プロセッサ
RAM	8ギガバイト（GB）以上のRAM（16 GBを推奨）
ハードディスク	20 GB以上の空きディスク容量（SSD推奨）
USBポート	利用可能なUSBポートが少なくとも1つ（必要に応じて計測器を接続するため）
ネットワークカード	1ギガビットイーサネットネットワークアダプタ（計測器との通信には、内蔵またはUSB-Cアダプタが必要です）
ディスプレイ	解像度1920×1080以上
インターネット接続	ソフトウェアの更新および機器への接続（該当する場合）に必要です。

開始する前に

開始する前に、以下のものが揃っていることを確認してください：

- Quality Central ライセンス（USB フラッシュドライブ）
- support.hunterlab.com から EasyMatch Quality Central をダウンロードできる環境
- 互換性を最大限に高めるため、Quality Centralが更新されるたびにEssentials L2を最新バージョンに更新してください。お使いの機器で以前のバージョンのEssentials L2が動作している場合は、作業を進める前にsupport.hunterlab.comから最新バージョンをダウンロードしてインストールしてください。

現在、以下の Essentials L2 ソフトウェアがダウンロード可能です：[Agera L2](#)、[ColorFlex L2](#)、[Vista with Essentials L2](#)、[Vista L2](#)。

- 装置と同じネットワークに接続されたPC。

装置でのライセンスの有効化

- Quality Central のライセンスファイルが保存された USB フラッシュドライブを、装置の USB ポートに挿入します。
- Essentials L2 の画面にアクティベーションのプロンプトが表示されたら、**[ENABLE]** を選択します。

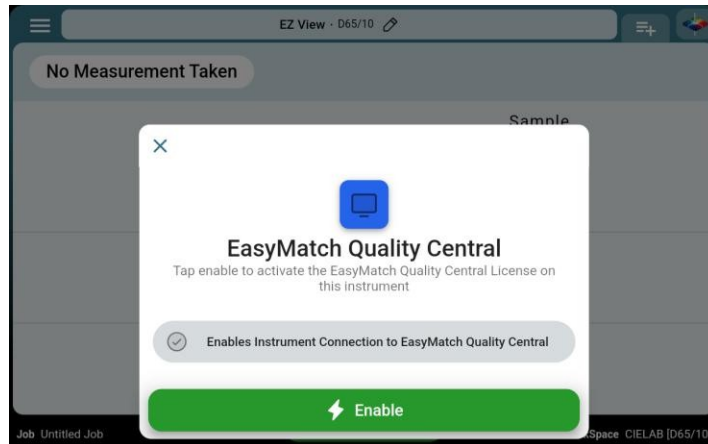


図 1. ライセンスの有効化

3. アクティベーションが完了すると、機器は Quality Central への接続準備が整います。

PC への Quality Central ソフトウェアのインストール

1. **EasyMatch Quality Central インストーラ**。support.hunterlab.com から EasyMatch Quality Central インストーラをダウンロードし、PC で実行してください。
2. **EasyMatch Quality Central のセットアップを完了します**。インストール画面の指示に従ってセットアップを完了してください。
3. **セットアップウィザードを使用します**。インストールが完了すると、初回セットアップウィザードが、データ保存を含む初期設定オプションの手順を案内します。

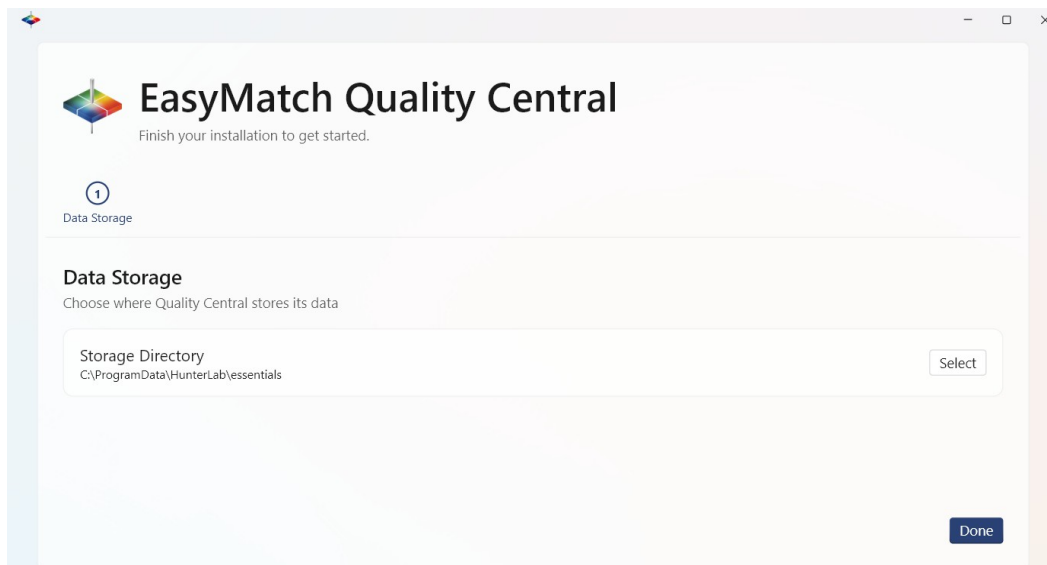


図 2. データ保存先の設定

注：デフォルトのデータ保存場所は C:\ProgramData\HunterLab\essentials です。この初期設定は、後で[設定] > [Quality Central 設定] から変更できます。

4. EasyMatch Quality Centralを起動します。ウェルカムウィザードが主要な概念について案内します。

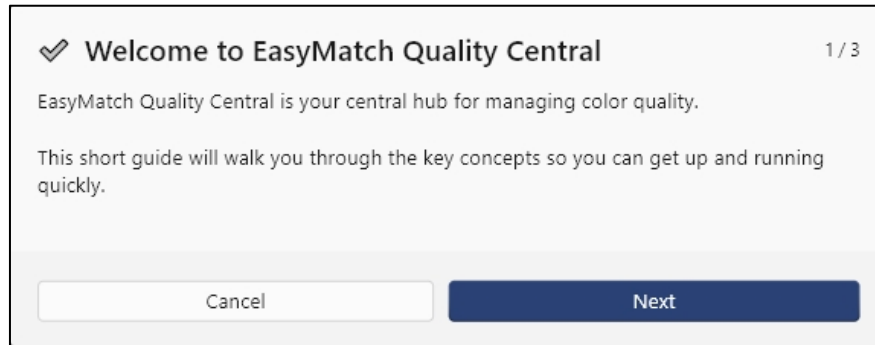


図 3. Quality Central の主要な概念

PCと測定器を同じネットワークに接続する

HunterLabでは、可能な限り以下の「ケース1」または「ケース2」の使用を推奨します。これらのケースでは、IPアドレスがDHCPを通じて自動的に割り当てられるため、セットアップが簡素化され、設定ミスの可能性が低減されます。「ケース3」は、イーサネットによる直接接続が必要な場合にのみ使用してください。

事例 1 — 顧客のネットワークが利用可能な場合、PC と計測器（Essentials L2 を実行中）の両方を接続します。既存のネットワークインフラが IP アドレスの割り当てを処理するため、両デバイスは自動的に同じサブネットに属することになります。Essentials L2 では、[SYSTEM MENU] > [INSTRUMENT SETTINGS] > [NETWORK SETTINGS] の項目で、デフォルトで **USE DHCP FOR ETHERNET** が選択されています。

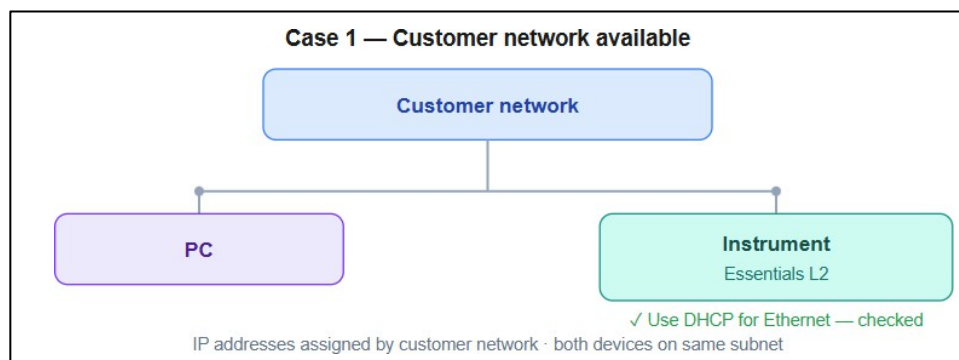


図 4. 顧客ネットワークへの接続

ケース 2 — 顧客ネットワークが利用できない場合は、両方のデバイスを、DHCP サーバーを内蔵したローカルスイッチに接続します。スイッチが IP アドレスの割り当てを引き継ぎ、各デバイスにアドレスを割り当て、デバイス同士が直接通信できるようにします。Essentials L2 では、[SYSTEM MENU] > [INSTRUMENT SETTINGS] > [NETWORK

設定の下で、「USE DHCP FOR ETHERNET」がデフォルトで選択されています。

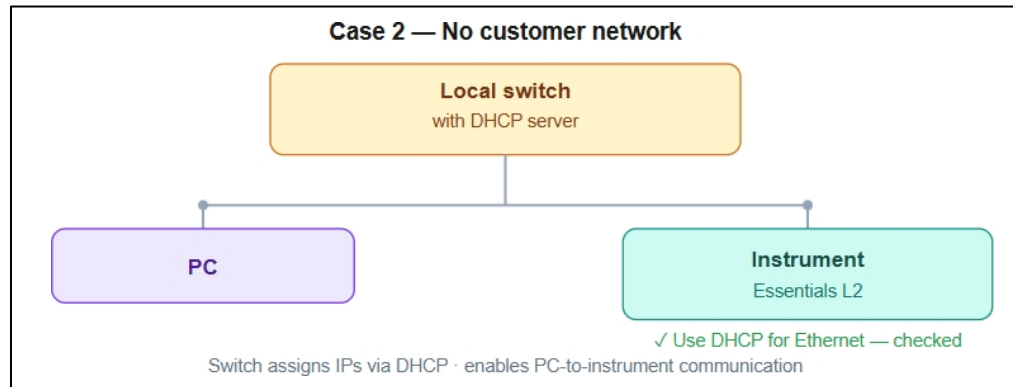


図5. ローカルネットワークへの接続

ケース3 — 間にスイッチやネットワークが存在しない場合、直接イーサネット接続を行います。イーサネット-USB 変換アダプタの有無にかかわらず、PCと計測器をイーサネットケーブルで直接接続します。計測器で、**[SYSTEM MENU] > [INSTRUMENT SETTINGS] > [NETWORK SETTINGS]** に移動し、**[USE DHCP FOR ETHERNET]** のチェックを外して、**静的 IP アドレスとサブネットマスクを手動で入力**します。

計測器の IP アドレスは、末尾の 1 桁を除き、PC のイーサネットアダプタの IP アドレスと一致させる必要があります。たとえば、PC のイーサネットアダプタの IP アドレスが 169.254.156.11 の場合、計測器の IP アドレスには 169.254.156.12 を入力し、PC に表示されているものと同じサブネットマスクを使用します。「**ゲートウェイ**」および「**優先 DNS**」のフィールドにも入力が必要です。両方のフィールドに、PC のイーサネットアダプタの IP アドレスを入力できます。この例では、「**ゲートウェイ**」と「**優先 DNS**」の両方に **169.254.156.11** を入力します。

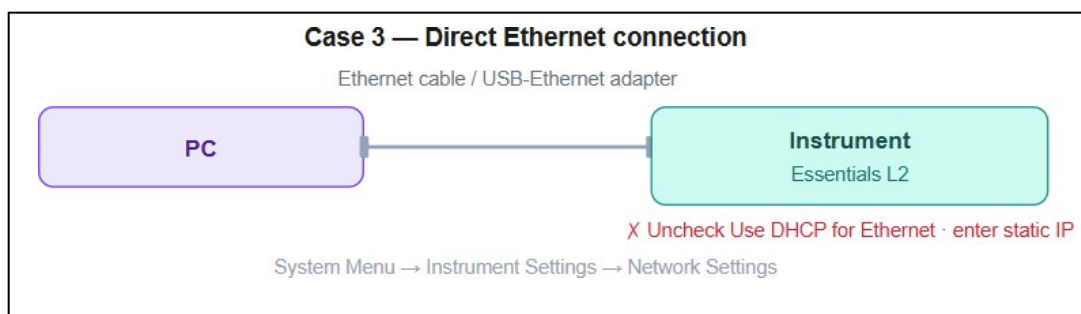


図6. イーサネットによる直接接続

ライブラリの設定

EasyMatch Quality Central では、測定データを扱うために 2 つの方法が用意されています。「クリック + 追加」を押して開始します：

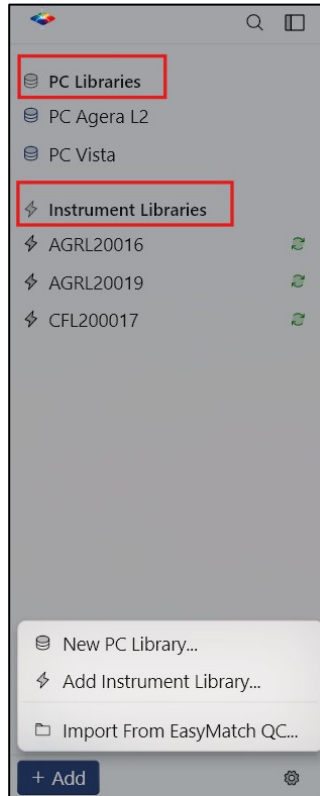


図7. 計測器ライブラリの作成

- **新しいローカルライブラリ / EasyMatch QC からインポート** — PC ライブラリを作成またはインポートします。データはPC上にのみ保存されます。計測器には何も保存されません。
- **計測器を接続** — Essentials L2 計測器に直接接続して、**計測器ライブラリ**を追加します。データは計測器に保存されます。

PCライブラリ

PCライブラリとは、PC上に保存されるワークスペース、ジョブ、および測定データの集合体です。「新しいPCライブラリ」を使用して新しいライブラリを作成するか、「EasyMatch QCからインポート」を使用して既存のEasyMatch QC ジョブをPCライブラリとして取り込みます。各ライブラリは、設定されたデータ保存パスに.ezm2ファイルとして保存されます。

EasyMatch QC からインポートする場合、インポートされたデータは規格ごとに整理されます。各 EasyMatch QC 規格は、PC ライブラリ内のワークスペースとしてインポートされます。その規格の下に保存された測定データは、対応するワークスペース内の「**IMPORTED**」という名前のジョブに配置されます。インポート後、ワークスペースやジョブを開き、対応するセンサータイプを持つ測定器を接続して、測定を続行してください。

1. 「+ 追加」 > 「**新しいローカルライブラリ**」または「**EASYPATCH QC からインポート**」をクリックします。ライブラリがサイドバーに表示されます。
2. ワークスペース一覧領域の **[追加]** ボタンをクリックし、センサーの種類を選択して、ワークスペースウィザードの指示に従ってワークスペースを設定します。ワークスペースに名前を付けて **[保存]** します。

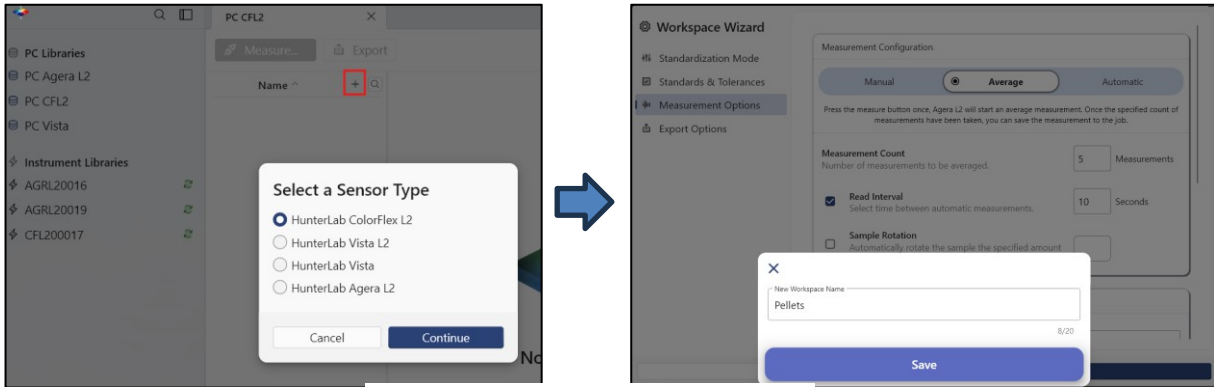


図8. センサーの選択と保存

- このワークスペース内のジョブをダブルクリックして開きます。「MEASURE」ボタンが有効になり（色が灰色から青色に変化）、接続できるようになります。

注：ジョブが一覧に表示されていない場合は、ワークスペースを右クリックして新しいジョブを作成してください。

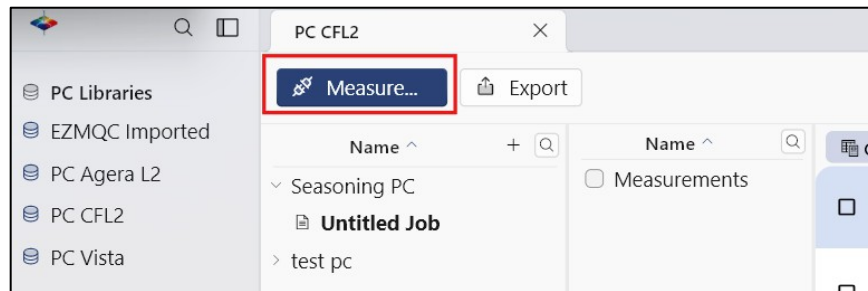


図9. 測定および計測器の選択

「MEASURE」ボタンをクリックします。そのセンサータイプに一致する利用可能な計測器のリストが表示されます。接続する計測器を1つ選択してください。

- 初めて接続する際は、1回限りのアクセスコードの入力が求められます。Quality Centralはこのコードを記憶し、今後の接続に利用します。計測器で、以下の順に操作してください：**ESSENTIALS L2 SYSTEM MENU > INSTRUMENT SETTINGS > NETWORK SETTINGS**に移動します。アクセスコードが表示されます。

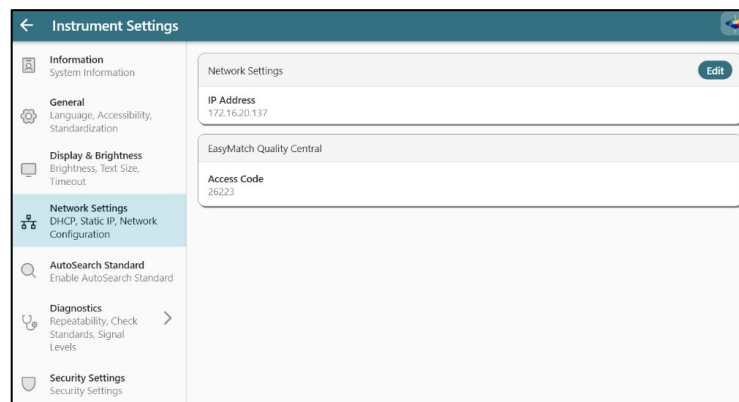
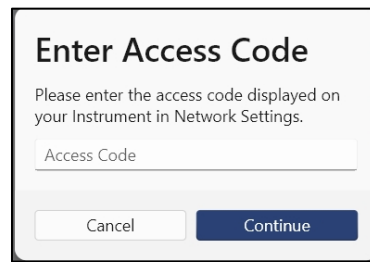


図10. アクセスコードの取得

注：アクセスコードは、Quality Centralで最初の接続を試行した後にのみ、Essentials L2画面に表示されます。

5. 表示されたアクセスコードをQuality Centralに入力してください。



Enter Access Code

Please enter the access code displayed on your Instrument in Network Settings.

Access Code

Cancel Continue

図11. アクセスコードの入力

6. 接続が完了すると、「Measure」ボタンが緑色に変わります。Quality Centralでは、この緑色のアクションボタンを使用して、標準化および測定を実行できます。

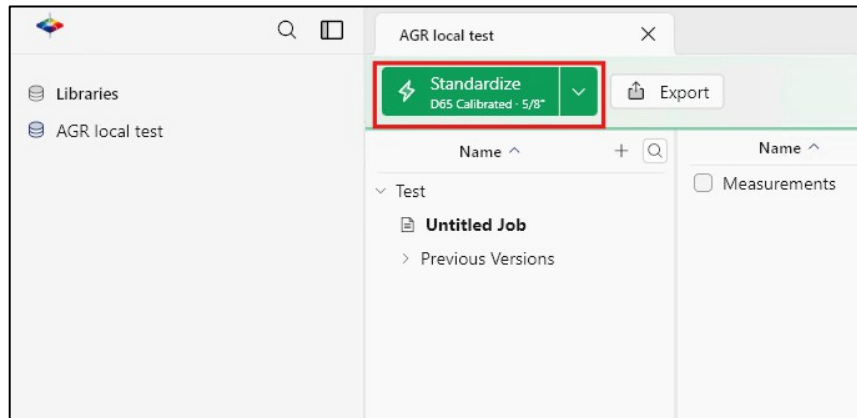


図12. 標準化

計測器ライブラリ

「**ADD INSTRUMENT LIBRARY**」を使用して、Essentials L2 計測器に直接接続します。計測器ライブラリでは、すべてのワークスペース、ジョブ、および測定データが計測器上に保存されます。

機器が Quality Central に接続されると、機器に保存されているデータが PC と同期されるため、Quality Central でそのデータを表示・利用できるようになります。機器の接続が切断された場合でも、新規または更新されたデータは機器に残り、機器が再接続された後に PC と同期されます。

1. 「**+ADD LIST**」内の「**ADD INSTRUMENT LIBRARY**」をクリックします。ネットワーク上で利用可能なすべての計測器が一覧表示されます。接続したい計測器をクリックしてください。
2. 初めて接続する際は、1回限りのアクセスコードの入力が求められます。測定器で、以下の順に操作してください：
ESSENTIALS L2 SYSTEM MENU > INSTRUMENT SETTINGS
> ネットワーク設定。

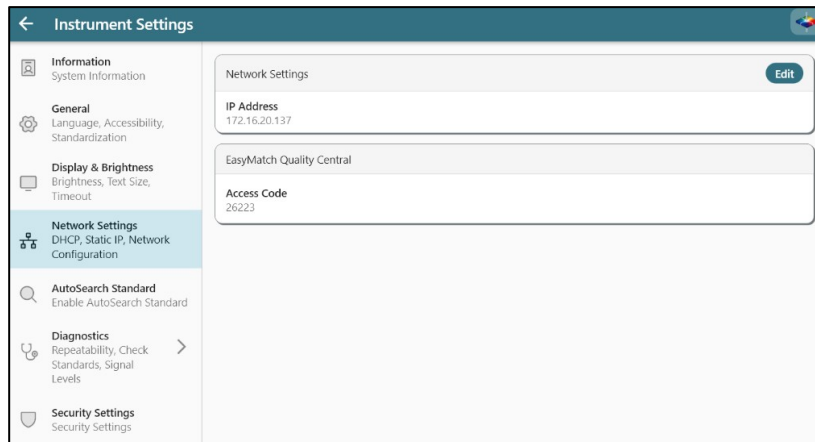


図 13. アクセスコードの取得

注：アクセスコードは、Quality Central で最初の接続を試行した後にのみ、Essentials L2 の画面に表示されます。

3. 表示されたアクセスコードをQuality Centralに入力してください。Quality Centralは、機器からすべてのWorkSpaceおよびジョブデータの同期を開始します。データの量によっては、最初の同期に時間がかかる場合がありますので、完了するまでお待ちください。完了すると、すべてのWorkSpaceおよびジョブがこの機器の下に一覧表示されます。

注：計測器が切断されている場合でも、読み取り専用モードで最後に同期されたデータを閲覧することができます。

JOBをダブルクリックして開きます。「**MEASURE**」ボタンが有効になり、灰色から青色に変わります。「**MEASURE**」をクリックして計測器に接続します。接続が完了すると、ボタンが緑色に変わります。緑色の「**MEASURE**」ボタンを使用して、標準化および測定を実行します。

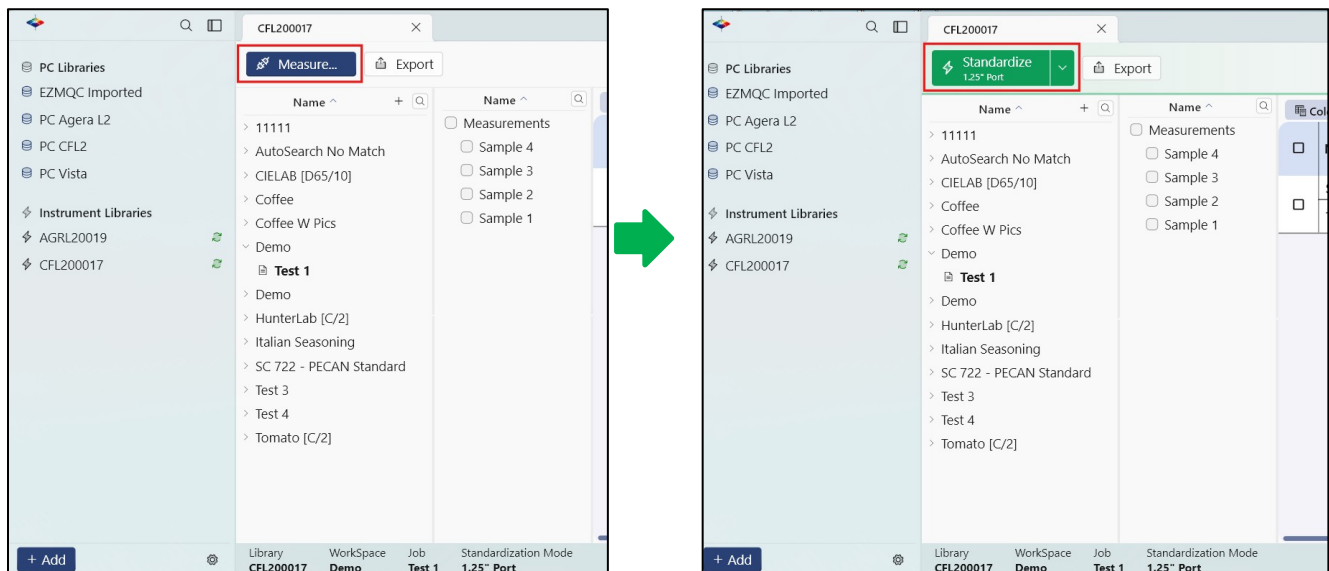


図16. 測定器の接続

「Measure」ボタン — PCライブラリおよび計測器ライブラリ

PCライブラリまたは計測器ライブラリからワークスペース内のジョブを開くと、「**MEASURE**」ボタンが有効になります。

「**MEASURE**」ボタンは、Quality Central から接続された計測器を制御するために使用されます。接続が完了すると、Quality Central から PC 上で直接、標準化および測定を実行できます。Essentials L2 画面では、計測器はリモートモードに入り、Quality Central からの最新の EZ-View データが表示されます。

Sample 4		VTS00105 5/27/2026 8:20 PM
Sample		
L*	100.00	
a*	0.00	
b*	0.00	
Haze % [C/2]	0.00	
Job: Untitled Job 3		Disconnect Workspace: numeric

図17. EZ View

計測器からのリモート測定セッションを終了するには、リモートモード画面の **[DISCONNECT]** を押します。また、緑色の「Measure」アクションボタンのドロップダウンアイコンをクリックし、**[DISCONNECT]** を選択することで、Quality Central からの接続を解除することもできます。

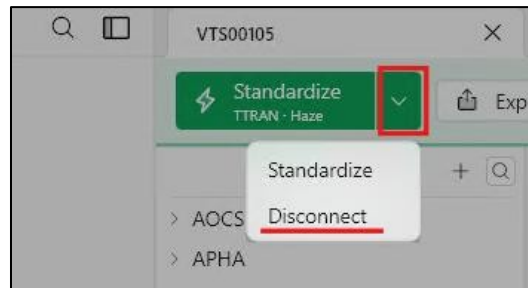


図18. 測定器からの切断

Quality Central 経由でのみ測定を許可するには、「**QUALITY CONTROL SETTINGS**」 > 「**INSTRUMENT SETTINGS**」に移動し、機器に接続して、**「DISABLE LOCAL MEASUREMENT」**を選択します。

この設定を適用すると、Quality Centralが標準化や測定のために計測器をアクティブに制御していない場合、計測器の画面は黒画面になります。

Quality Central が接続され、「Measure」ボタンを介して機器を制御している場合、Essentials L2 画面の EZ View に最新の測定データが表示されます。

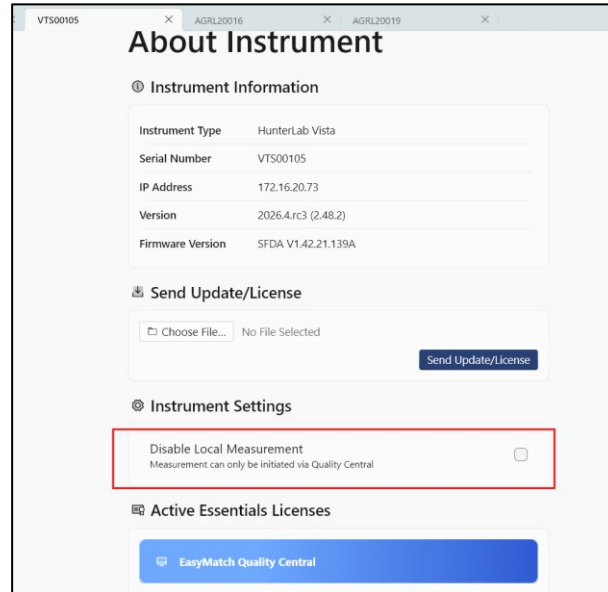


図 19. ローカル測定が無効化



図20. Essentials L2 待機画面 — ローカル測定が無効

注：計測器がリモート制御用に接続されている場合、ワークスペースは編集できません。変更を行うには、まず計測器の接続を解除してください。その後、ワークスペースを再び編集できるようになります。

接続ステータスインジケータ

- 計測器が計測器検索リストに表示されない場合は、PCと計測器が同じネットワークに接続されていることを確認してください。
- 測定器が検索リストに表示されるものの、「ライセンスなし」エラー（下図参照）が表示される場合は、以下のいずれかの方法でライセンスを有効にしてください。

Quality Central の場合：計測器の Quality Central ライセンスファイルを参照して有効化し、その後、計測器の追加を続行してください。

Essentials L2の場合：ライセンスファイルが保存されたUSBメモリを計測器に接続してライセンスを有効にし、Quality Centralに戻って計測器を再度追加してください。

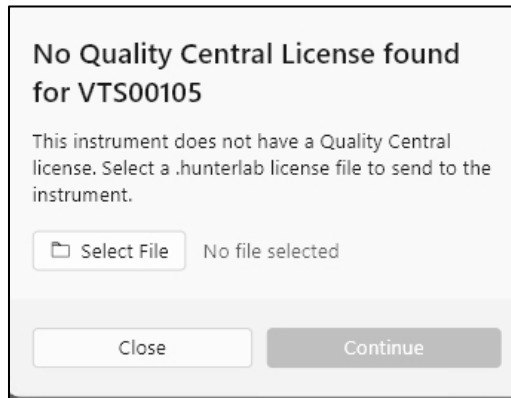


図 21. Quality Central ライセンス

- 機器が Quality Central で要求されるバージョンよりも古い Essentials L2 バージョンを実行している場合、機器検索リストに警告三角アイコンが表示されます。機器を追加する前に、support.hunterlab.com から最新の Essentials L2 バージョンに更新してください。

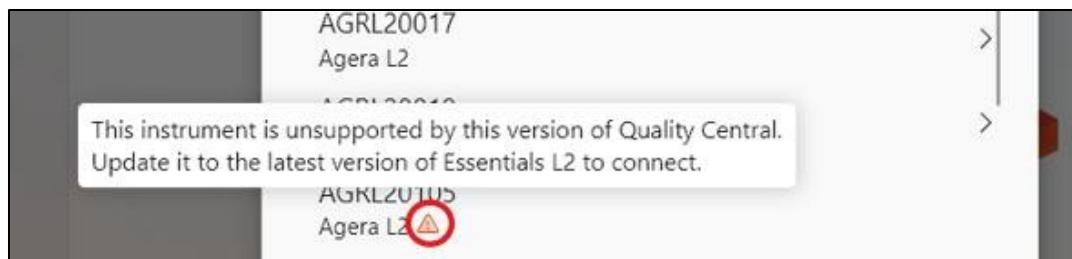


図 22. Essentials L2 への更新が必要

- すでに「機器」リストに追加されている機器の場合：

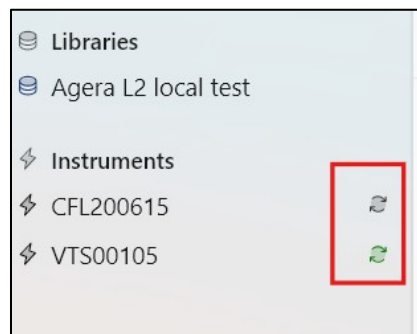


図 23. 同期済みの機器

- 同期インジケーターが緑色の場合、その機器はすでに接続されており、Quality Central と機器の間でデータが同期されています。

- 同期インジケーターが灰色の場合、その機器は現在 Quality Central と同期されていません。機器名をクリックして接続状態を確認してください。
 - ログインダイアログが表示されず、同期インジケーターが灰色のままの場合は、その機器は現在オフラインであるか、利用できない状態です。その場合でも、PCにローカルに保存されている直近の同期データを読み取り専用モードで閲覧することは可能です。
 - ログインダイアログが表示された場合は、計測器にログインしてください。ログイン後、同期インジケーターが緑色に変わり、ユーザーアカウントのアイコンが表示されます。

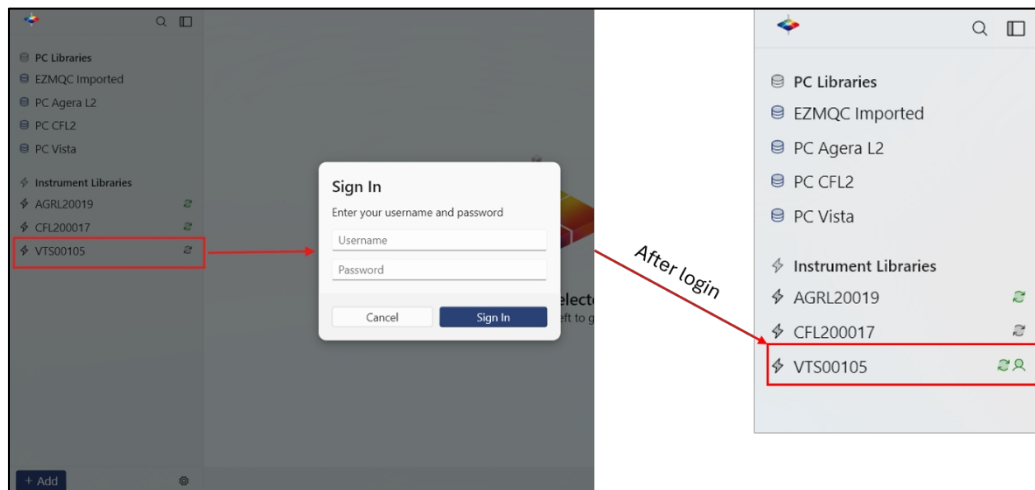


図 24. 同期済みと未同期の比較

ライブラリ、ワークスペース、ジョブ、および測定データ

ライブラリ

ライブラリは左側のサイドバーに表示され、「PC ライブラリ」と「機器ライブラリ」に分類されます。ライブラリは、EasyMatch Quality Central においてデータを整理するための最上位の単位です。ライブラリは、ワークスペース、ジョブ、および測定データを格納するコンテナです。

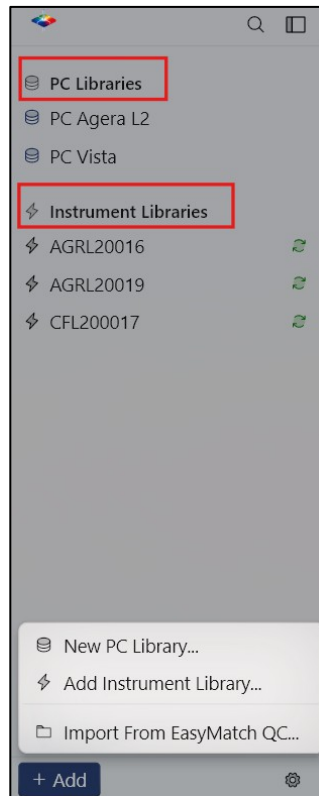


図25. ライブラリ

PCライブラリ

PCライブラリは、PC上のQuality Central保存場所に.ezm2ファイルとして保存されます。これにより、ユーザーはワークスペース、ジョブ、標準値、および測定データを作成・管理でき、それらのデータを計測器に保存する必要がありません。これは、PCベースのワークフローや、測定データをローカルPCにのみ残しておきたい場合に役立ちます。

PCライブラリを作成するには、[ライブラリ] サイドバーのプラス (+) ボタンをクリックし、[新しいPCライブラリ] を選択します。ライブラリ名を入力して保存します。その後、PCライブラリからワークスペースやジョブを作成・使用できるようになります。

PCライブラリを使用して測定を行う場合、Quality Centralは選択された計測器に接続し、標準化と測定を制御します。得られた測定データはPCライブラリにのみ保存され、計測器には保存されません。測定セッション中、Essentials L2は「リモートモード」画面を表示し、最新のEZ Viewデータを表示します。

EasyMatch QC のインポート

EasyMatch QCの.jsdジョブファイルをEasyMatch Quality Centralにインポートすることで、履歴データを保持し、従来のEasyMatch QCワークフローからの移行をサポートできます。

EasyMatch QC データを Quality Central に取り込む際、各 .jsd ジョブファイルは個別の PC ライブラリとして作成されます。そのライブラリ内では、各 EasyMatch QC 標準がワークスペースとなります。その標準に関連付けられた測定データは、対応するワークスペースの下にある「Imported」という名前のジョブに配置されます。

EasyMatch QCの.jsdファイルをインポートするには：

1. **[+ 追加] > [EasyMatch QC からインポート]** をクリックします。
2. **[EasyMatch QC インポーター]** ダイアログで、**[選択]** をクリックして 1 つまたは複数の .jsd ファイルを選択します。

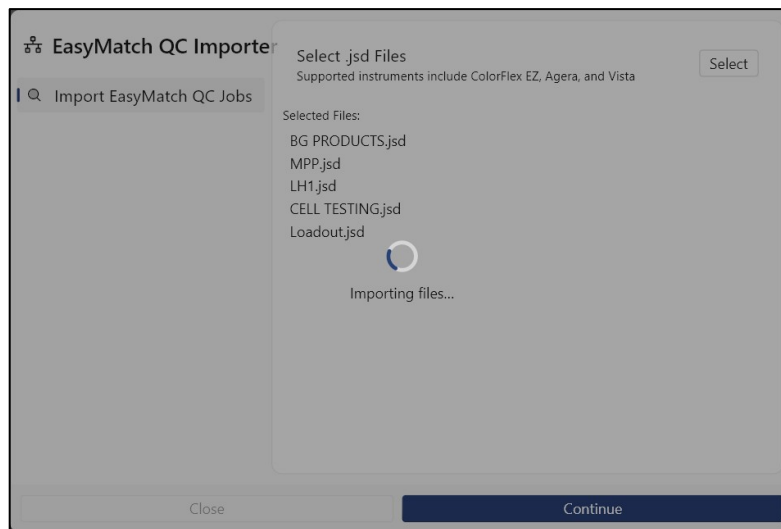


図 26. ファイルのインポート

3. **[続行]** をクリックして、インポート処理を開始します。

インポートが完了すると、新しいライブラリが **[PC ライブラリ]** の下に表示されます。インポートされた PC ライブラリを開き、変換されたワークスペース、インポートされたジョブ、および測定データを確認してください。

一部のレガシーインデックス、CMR、または独自の構成は、Quality Central ではまだサポートされていない場合があります。インポートしたジョブで、期待どおりに移行されない構成が使用されている場合は、HunterLab サポートに連絡して確認を依頼してください。

機器ライブラリ

各 Essentials L2 機器には、その機器に保存されている独自の**機器ライブラリ**があります。機器ライブラリには、同じネットワーク上の 1 つまたは複数の Quality Central インストール環境からアクセスできます。

Quality Centralは、PC上に機器ライブラリのローカル同期コピーを保持します。これにより、ユーザーは機器がオフラインのときでも、最後に同期されたワークスペース、ジョブ、および測定データを表示できます。機器ライブラリ内で測定を作成、編集、または実行するには、機器が接続されている必要があります。

Quality Centralが初めて計測器に接続すると、計測器上の既存のワークスペース、ジョブ、および測定データをPCに同期します。その後、計測器が接続されている間は、Quality Centralはローカルコピーを計測器と同期した状態に保ちます。

計測器上で作成された新しいワークスペース、ジョブ、および測定データは、計測器が接続されている間、Quality Centralに表示されます。計測器の接続が切断された場合、新規または更新されたデータは計測器上に残され、接続が回復した後にPCと同期されます。

計測器名の横にある緑色の同期インジケータは、計測器が接続され、同期されていることを示します。データの同期中は、インジケータが回転します。計測器が切断されると、同期インジケータは灰色に変わります。その場合でも、PCにローカルに保存されている最後に同期されたデータは、読み取り専用モードで閲覧できます。計測器が再接続されると、Quality Centralは自動的に同期を再開します。

ワークスペース

ワークスペースは、ジョブに使用される測定設定を定義します。これには、選択されたセンサタイプ、標準化モード、測定オプション、色標準の設定、色差、指標、許容誤差、および測定に必要なその他の設定オプションが含まれます。

ワークスペースは、PCライブラリと機器ライブラリの両方で作成できます。バージョン**2026.4**以降では、サポートされている場合、既存のワークスペースを編集することも可能です。

ワークスペースを管理するには、ワークスペース名を右クリックしてワークスペースメニューを開きます。利用可能なオプションには、次のようなものがあります：

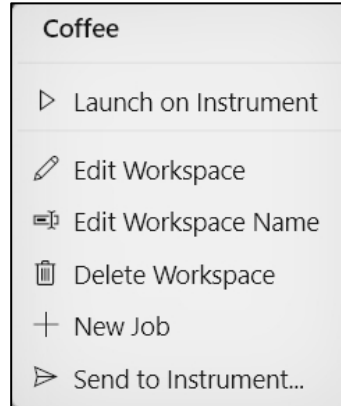


図 27. ワークスペースメニュー

- **「機器で起動」** — 接続された Essentials L2 機器上でワークスペースを直接開きます。このオプションは、機器ライブラリでのみ利用可能です。
- **ワークスペースの削除** — 選択したライブラリからワークスペースを削除します。
- **新しいジョブ** — ワークスペースの下に新しいジョブを作成します。
- **機器へ送信** — ワークスペースを接続された Essentials L2 機器に送信します。
- **ワークスペース名の編集** — ワークスペースの名前を変更します。
- **ワークスペースの編集** — Quality Central でワークスペースウィザードを開きます。ワークスペースウィザードは、対応する Essentials L2 測定器と同じセットアップワークフローとインターフェースを使用します。標準化モード、基準および許容差、カラースケール、色差、指標、測定オプション、およびその他の測定設定は、このウィザードを通じて構成されます。

図 28. ワークスペース・ウィザード

注：ワークスペースを編集できるのは、Quality Centralが測定制御のために計測器にアクティブに接続されていない場合のみです。Quality Centralが「Measure」ボタンを介して接続されている場合は、ワークスペースを編集する前に測定セッションの接続を解除してください。計測器ライブラリの場合、ワークスペースの変更を計測器に保存するには、事前に計測器が接続されている必要があります。

ジョブ

ジョブはワークスペースの下に作成され、そのワークスペースの設定で収集された測定データを保存するために使用されます。ユーザーはジョブを開いて、既存の測定結果を確認したり、同じジョブに新しい測定を追加したりします。

ジョブが開かれると、Quality Central はそのジョブの測定およびデータビューを表示し、「MEASURE」ボタンが有効になります。測定およびデータビューを使用してデータを確認してください。「MEASURE」をクリックすると、選択した計測器に接続し、標準化または測定を実行します。

Quality Central ウィンドウとデータビュー

Quality Central ウィンドウには、「ライブラリー一覧」、「ワークスペース一覧」、「測定一覧」、および「データビュー」という4つの主要な領域があります。また、このウィンドウには、開いているライブラリタブ、現在のジョブ情報、ソフトウェアバージョン、「ライブラリの追加」アイコン、「設定」アイコンなどの追加のコントロールやステータス情報も表示されます。

ジョブを開くと、「MEASURE」ボタンと「EXPORT」ボタンが有効になります。

Quality Central ウィンドウのレイアウト

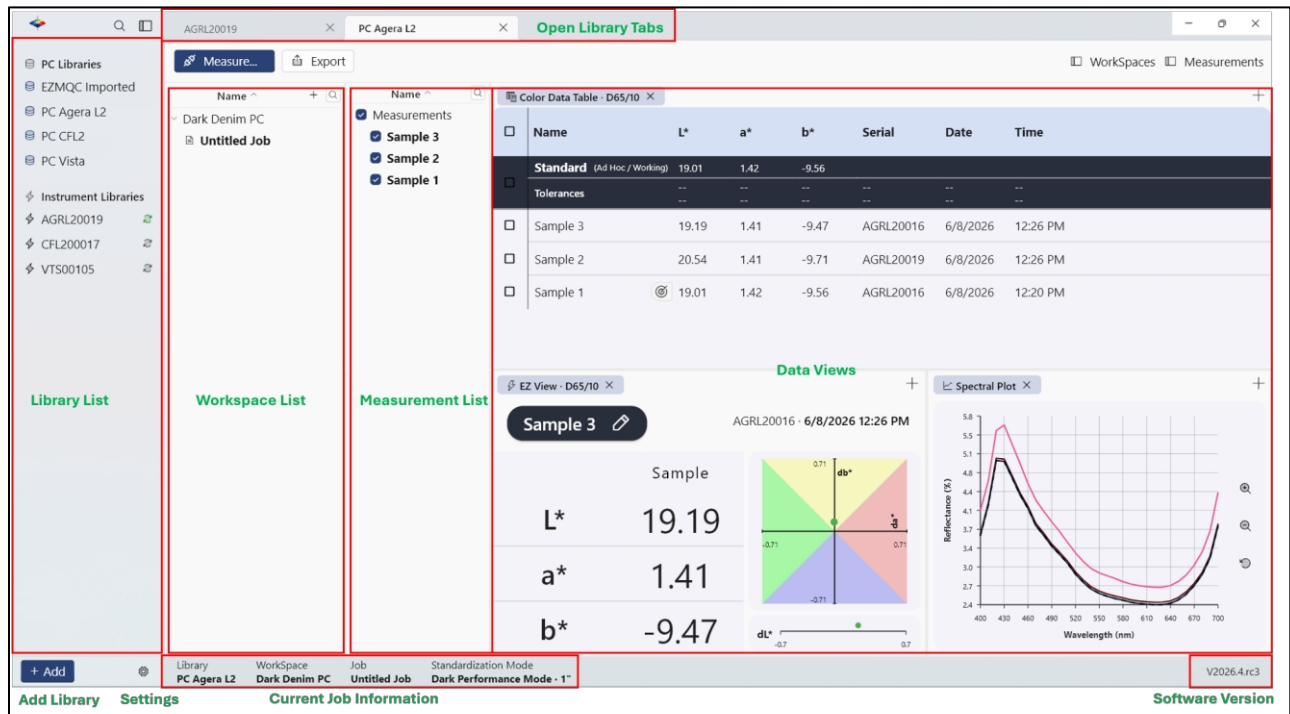


図 29. Quality Central ウィンドウ

「ライブラリー一覧」には、利用可能なPCライブラリおよび機器ライブラリが表示されます。ライブラリを選択すると、そのワークスペースやジョブを開いて表示できます。

[ライブラリの追加] アイコンを使用して、新しい PC ライブラリを作成したり、EasyMatch QC からデータをインポートしたり、機器ライブラリを追加したりできます。

[設定] アイコンをクリックすると、[設定] リストが開き、ユーザーは Quality Central の設定や機器の設定にアクセスできます。

「ワークスペース一覧」には、選択したライブラリ内のワークスペースとジョブが表示されます。ジョブをダブルクリックすると、その測定値および関連するデータビューが Quality Central に読み込まれます。

「測定リスト」には、選択したジョブ内のすべての測定が表示されます。1つまたは複数の測定を選択して、測定データの表示、比較、コピー、またはエクスポートを行うことができます。

「データビュー」領域には、選択した測定データが、「カラーデータテーブル」、「カラープロット」、「EZ View」など、1つ以上のビュー形式で表示されます。

ジョブが開かれると、ワークスペース一覧の上部に「測定」ボタンと「エクスポート」ボタンが表示されます。「測定」ボタンを使用して、選択した計測器に接続し、標準化または測定を実行します。「エクスポート」ボタンを使用して、選択したジョブから測定データをエクスポートします。

[ライブラリを開く] タブには、Quality Central ウィンドウで現在開かれているライブラリが表示されます。タブをクリックして、開いているライブラリを切り替えることができます。

[現在のジョブ情報] 領域には、選択されているライブラリ、ワークスペース、ジョブ、標準化モードなど、現在開かれているジョブに関する情報が表示されます。

「ソフトウェアバージョン」は、Quality Central ウィンドウの右下隅に表示されます。

「折りたたみアイコン」を使用すると、データビュー領域にさらにスペースが必要な場合に、ワークスペース一覧や測定一覧を非表示にできます。

データビュー

「データビュー」領域には、さまざまな形式で測定結果が表示されます。ユーザーは、データビュータイトル内の「+」アイコンをクリックしてビューを追加できます。各タイトルには、複数のビュータブを含めることができます。

利用可能なビューの種類は次のとおりです。

- EZ ビュー
- カラーデータテーブル
- スペクトルプロット
- スペクトルデータテーブル
- カラープロット
- サンプル画像

ビュータブを右クリックし、「ビューの編集」を選択すると、そのビューを編集できます。編集機能はEssentials L2と同様に動作します。

データビューは複数のタイトルに対応しており、ユーザーが1つのタイトル内でビューを切り替える必要がなく、複数のビューを同時に表示できます。ユーザーは、データビューに複数のビュータイプを追加することでレイアウトを設定できます。レイアウトを再配置するには、ビューをクリックして押したまま、データビュー内の目的の場所にドラッグします。

EasyMatch Quality Central 2026.4 以降では、同じタイプのビューを複数追加し、それぞれ個別に設定することができます。

複数のビューを追加した後、ユーザーはビューをクリックして押し続け、データビュー内の目的の位置までドラッグすることができます。

データビューを削除するには、そのビュータブを閉じます。タイトル内のすべてのビュータブが閉じられると、タイトル全体が閉じられます。

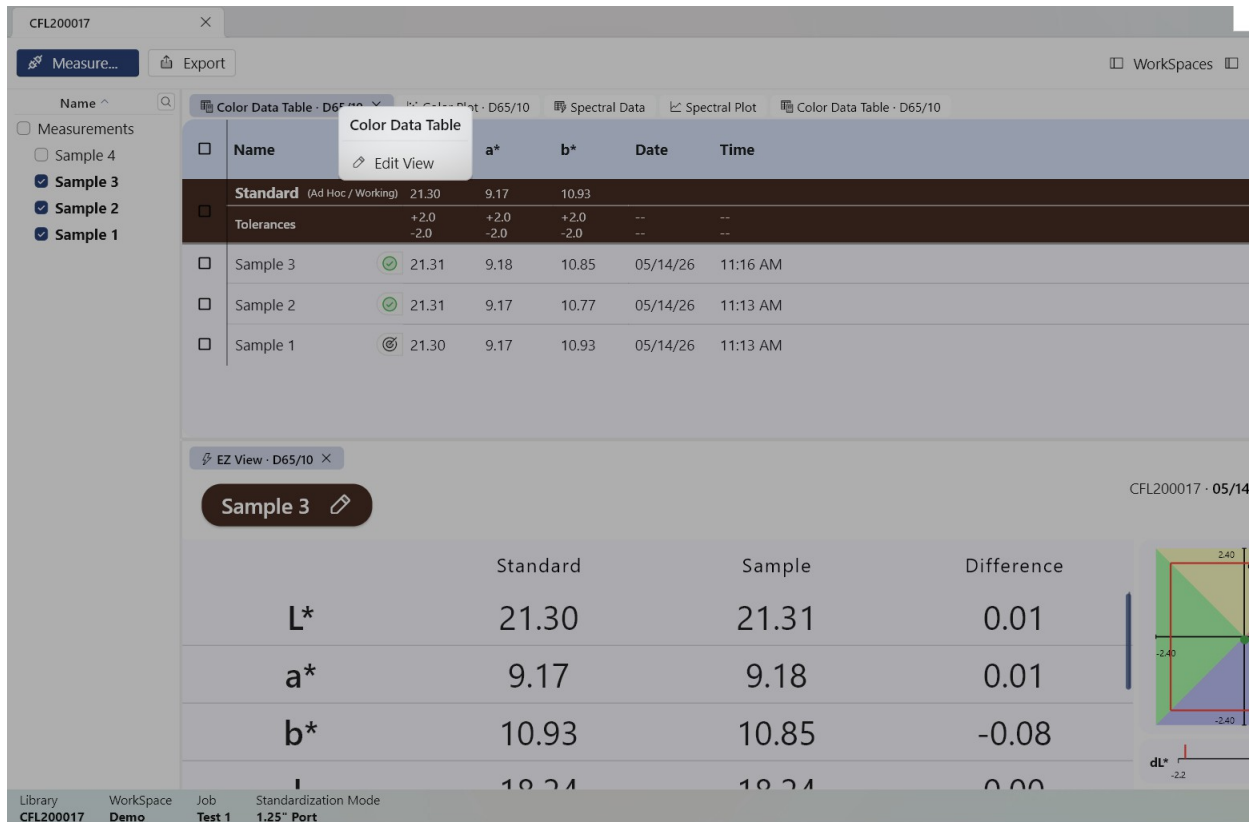


図 30. カラーデータテーブルビュー／編集ビュー

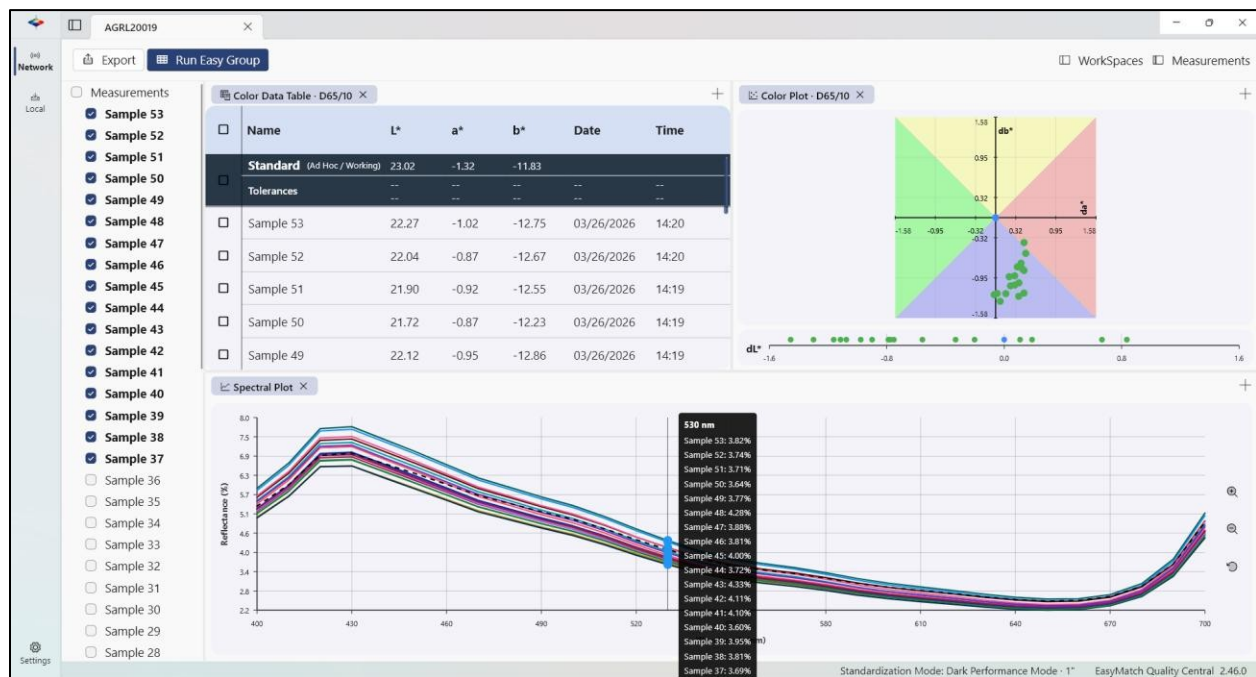


図 31. マルチタイル データ ビュー

Measure... Export

Name ^

Measurements

- Sample 5
- Sample 4
- Sample 3
- Sample 2
- Sample 1

Color Data Table · D65/10 ×

☐	Name	Date	Time	L*	a*	b*
☐	Standard (Ad Hoc / Working)			40.45	-4.03	20.54
☐	Tolerances	--	--	+2.0 -2.0	+2.0 -2.0	+2.0 -2.0
☐	Sample 5	06/09/26	11:23 AM	40.59	-4.04	20.54
☐	Sample 4	06/09/26	11:23 AM	40.60	-4.04	20.53
☐	Sample 3	06/09/26	11:23 AM	40.60	-4.04	20.50
☐	Sample 2	06/09/26	11:22 AM	40.47	-4.05	20.53
☐	Sample 1	06/09/26	11:21 AM	40.45	-4.03	20.54

Color Data Table · C/2 ×

☐	Name	Date	Time	L	a	b
☐	Standard (Ad Hoc / Working)			34.45	-5.18	12.33
☐	Tolerances	--	--	--	--	--
☐	Sample 5	06/09/26	11:23 AM	34.58	-5.18	12.35
☐	Sample 4	06/09/26	11:23 AM	34.59	-5.19	12.35
☐	Sample 3	06/09/26	11:23 AM	34.59	-5.18	12.34
☐	Sample 2	06/09/26	11:22 AM	34.47	-5.19	12.33
☐	Sample 1	06/09/26	11:21 AM	34.45	-5.18	12.33

Library: CFL200017 Workspace: Demo Job: Untitled Job Standardization Mode: Sample Cup

図32. 1つのジョブ内の異なる色のデータテーブル

測定値の表示と選択

「測定値」リストから1つまたは複数の測定値を選択して、データを表示します。

- **Ctrl** キーを使用して、複数の個別の測定値を選択します。
- **Ctrl + Shift** キーを使用して範囲を選択します。
- 「MEASUREMENTS」の横にあるチェックボックスを使用して、すべてを選択または選択解除します。

データの出力

コピーと貼り付け

「カラーデータテーブル」または「スペクトルデータテーブル」に表示されている測定データは、スプレッドシートに直接コピーすることができます。

目的の測定データを選択した後、右クリックして「コピー」または「ヘッダー付きでコピー」を選択します。標準的なキーボードショートカットがサポートされています。

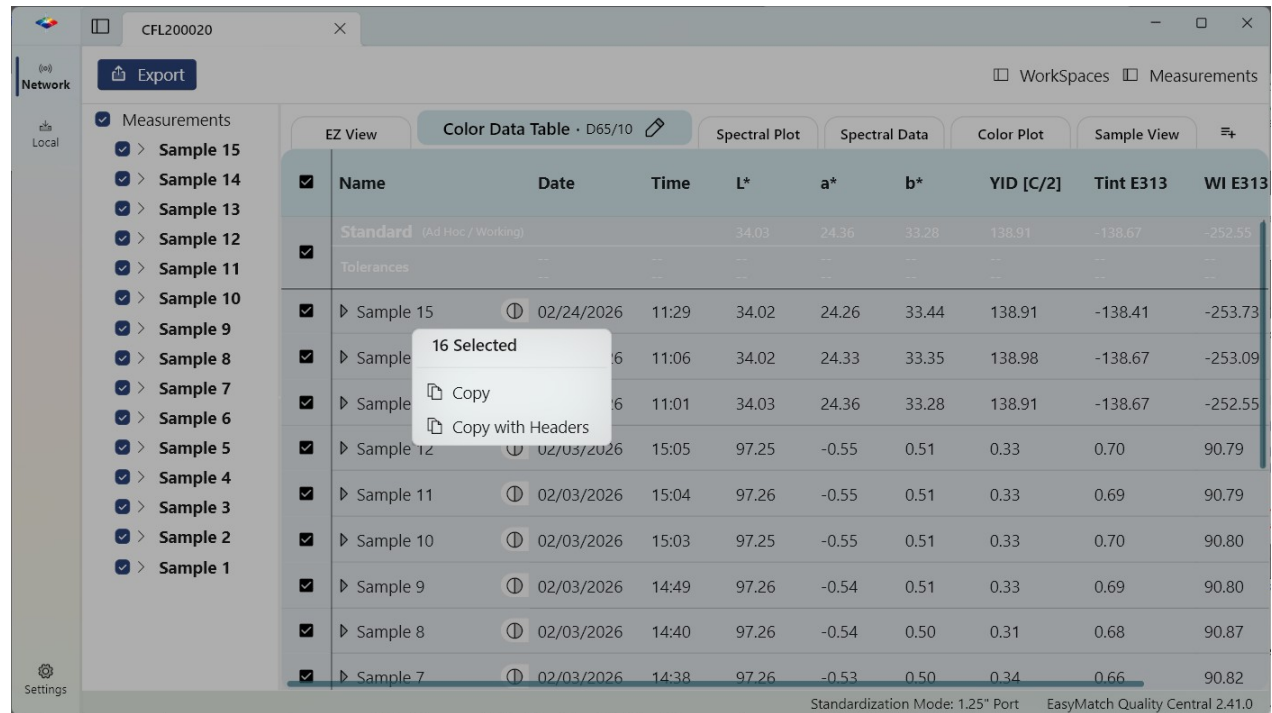


図 33. コピー

測定データのエクスポート

測定データは、各ワークスペースごとに設定された **.csv/.txt** または **PDF 形式** でエクスポートできます。ワークスペース内でジョブを開き、「**エクスポート**」ボタンをクリックして、エクスポートする内容を設定します。

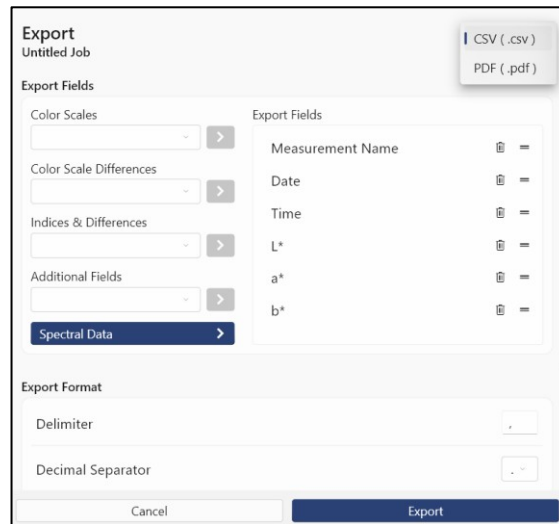


図 34. エクスポート条件

.csv または .txt としてエクスポート

1. ドロップダウンリストから.csvファイル形式を選択します。
2. エクスポートする.csvまたは.txtファイルに含めるフィールドを設定します。
3. 各フィールドの横にある 2 本のバーのアイコンをドラッグして、エクスポートファイル内のフィールドの順序を変更します。
4. 区切り文字、小数点区切り記号、列ラベルを含める、テキストフィールドを引用符で囲む、サンプル画像を含めるなど、エクスポート形式のオプションを設定します。
5. 「サンプル画像を含める」が選択されている場合、サンプル画像は別の ZIP フォルダ内の .jpeg ファイルとしてエクスポートされます。
6. **[エクスポート]** をクリックします。標準のファイルエクスプローラーダイアログが表示され、ファイル名と保存場所を選択できます。ファイルは、.csv または .txt の拡張子で保存できます。

PDF としてエクスポート

1. ドロップダウンリストから .PDF ファイルタイプを選択します。
2. ロゴ領域をクリックして会社のロゴ画像を選択し、会社名を入力します。
3. PDF レポートに含めるビューを設定します。

注：「サンプル画像を含める」が選択されている場合、サンプル画像は .jpeg ファイルを別のzipフォルダにまとめてください。

4. **[PRINT]** をクリックすると、接続されたプリンターに PDF を直接印刷できます。また、**[EXPORT]** をクリックして、ファイル名と保存先を選択し、PDF ファイルを保存することもできます。

Export

Untitled Job

PDF (.pdf) ▾

PDF Branding

Click to choose a logo

Company Name

Enter Company Name here

PDF Views

☒ Include standards and tolerances

⌵ Spectral Data Table

☐ Landscape ▾

⌵ Spectral Plot

☐ Portrait ▾

⌵ Color Plot

☐ Portrait ▾

⌵ Color Data Table

☒ Landscape ▾

⌵ EZ View

☐ Landscape ▾

Cancel

Print

Export

図 35. ジョブのエクスポート

設定

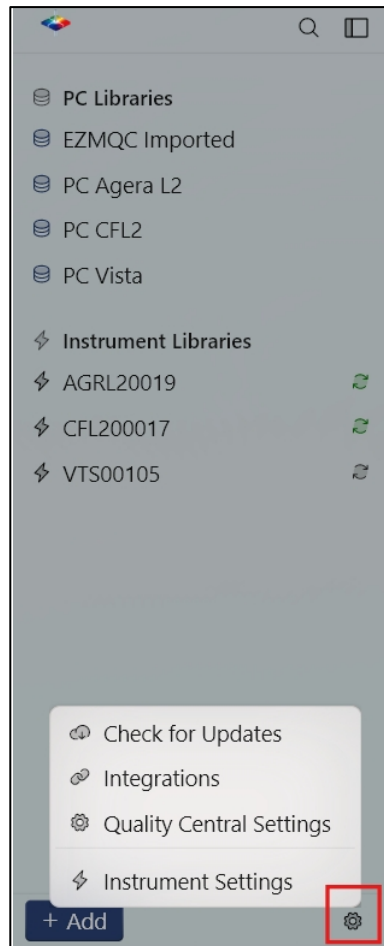


図 36. 設定

更新の確認

Quality Central の更新設定を管理するには、左下隅にある「**設定**」の**歯車アイコン**をクリックし、「**更新を確認**」を選択します。PCがインターネットに接続されている必要があります。

手動で更新を確認するには、左下隅にある設定ギアをクリックし、「更新の確認」を選択してから、「今すぐ確認」をクリックします。更新プログラムが利用可能な場合は、「更新を表示」を選択してダウンロードを開始します。

「起動時に更新を確認」にチェックが入っている場合、Quality Centralはアプリケーションの起動ごとに自動的に更新を確認し、新しいバージョンが利用可能な場合は通知します。利用可能な最新バージョンを使用することをお勧めします。

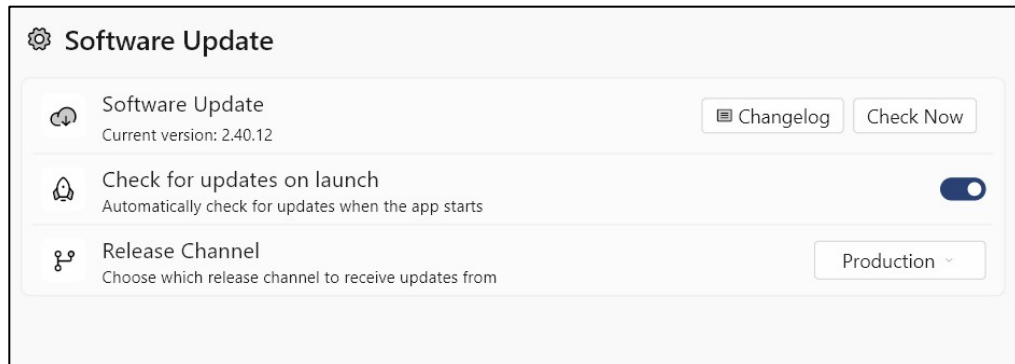


図 37. ソフトウェアの更新を確認する

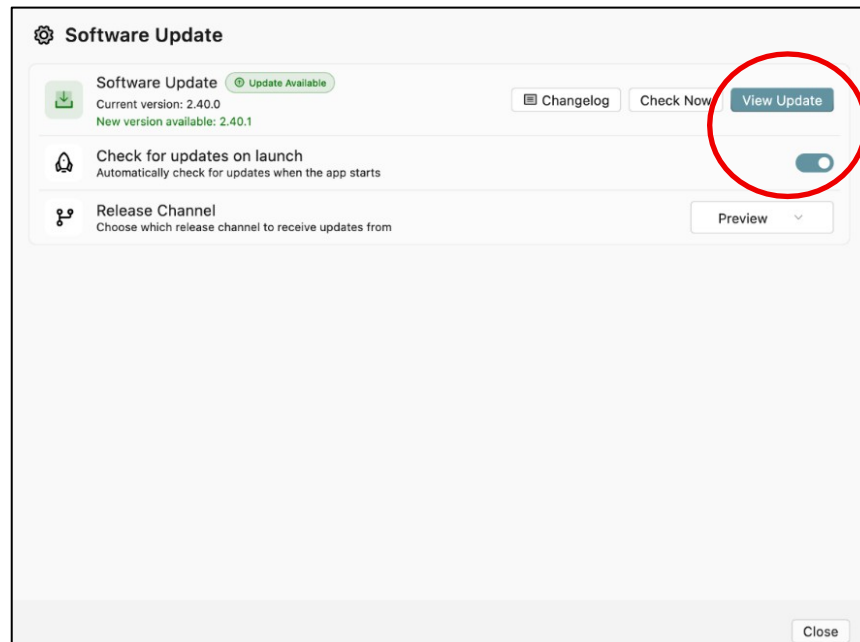


図 38. 更新プログラムの表示

注：リリースチャネル間のダウングレードを行うと、アプリケーションが不安定な状態になる可能性があります。クリーンインストールが必要になる場合があります。チャネル間の切り替えは推奨されません。

連携機能

Quality Central は、**File Sync** 連携を通じて、測定データを CSV ファイルに自動的にエクスポートする機能をサポートしています。この機能はバージョン **2026.4.2 以降** で利用可能です。

- 「設定」>「連携」に移動し、右上隅にあるトグルスイッチを使って「ファイル同期」を有効にします。

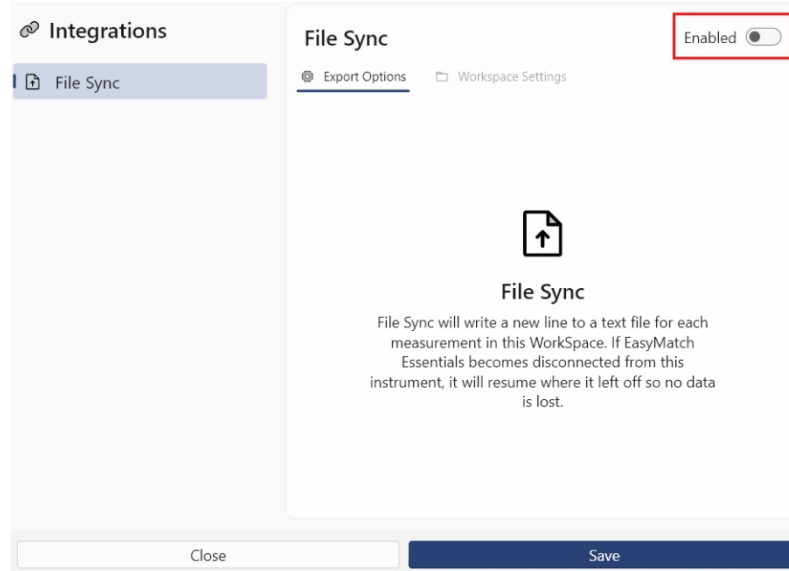


図39. ファイル同期を有効にする

- [ワークスペース設定] タブを選択します。ライブラリを展開して、利用可能なワークスペースを表示します。機器ライブラリ内のデフォルトのワークスペースは含まれていません。
- トグルスイッチを使用してワークスペースのファイル同期を有効にし、鉛筆アイコンをクリックして、そのワークスペースのエクスポートフィールドとファイル形式を設定します。

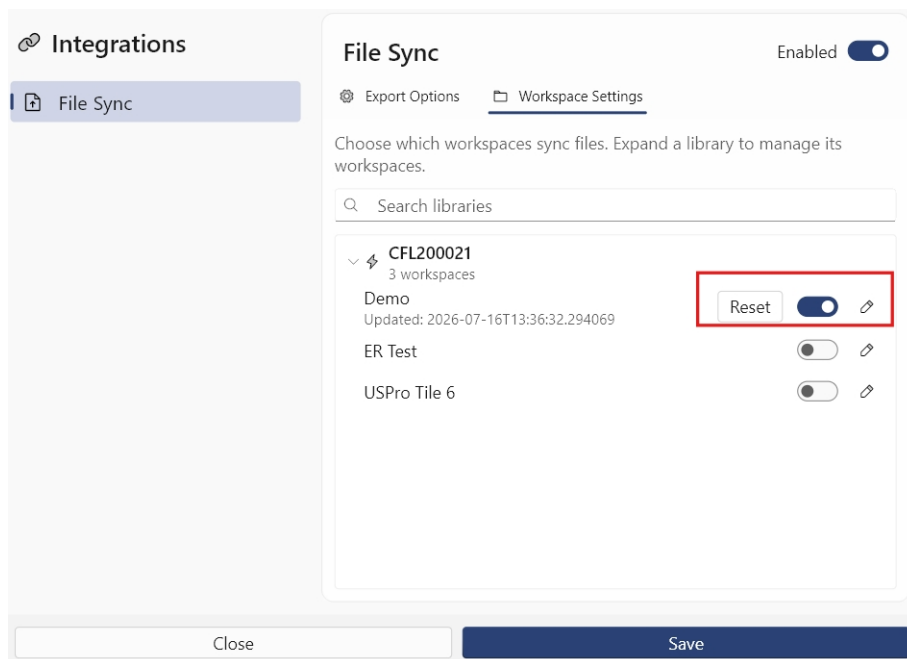


図40. ワークスペースのファイル同期の設定

注：

- ワークスペースの同期を再開するには、「**RESET**」をクリックします。
- デフォルトのワークスペース（CIELAB [D65/10] または HunterLab [C/2]）では、ファイル同期を有効にすることはできません。カスタムワークスペースを作成する必要があります。
- [統合] ダイアログで [エクスポートオプション] をクリックし、[保存先フォルダ]、[ジョブ構造]、および [エクスポートルール] を指定します。[保存] をクリックして設定を適用します。

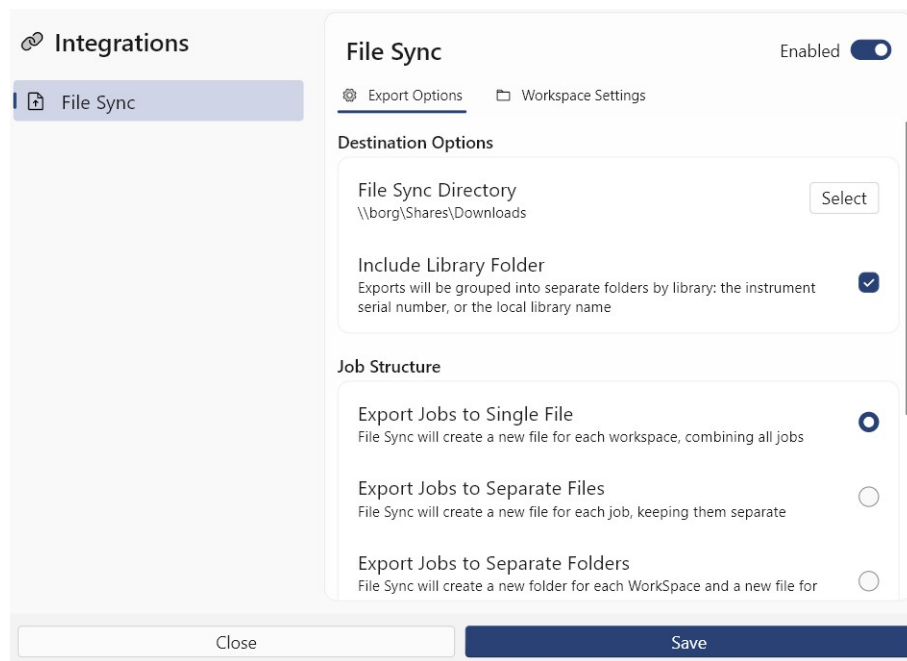


図 41. ファイル同期

ファイル同期ディレクトリおよびジョブ構造：CSVファイルは、選択した保存先フォルダに保存されます。機器のシリアル番号によるグループ化や、ジョブごと、ワークスペースごと、または単一の統合ファイルとして保存するなど、データの整理方法を設定します。

測定制限：有効化されたワークスペースで測定が行われるたびに、新しい行が末尾に追加されます。「エクスポートルール」で最大測定制限が設定されている場合、最も古いデータは新しい測定値に置き換えられます。

Quality Centralの設定

[設定] リストにある [Quality Central 設定] では、Quality Central のアプリケーションレベルのオプションを設定できます。

Quality Centralの設定には、以下のカテゴリが含まれます：

- 外観
- リモート測定
- データストレージ
- 計測器の検出
- 言語とローカライズ

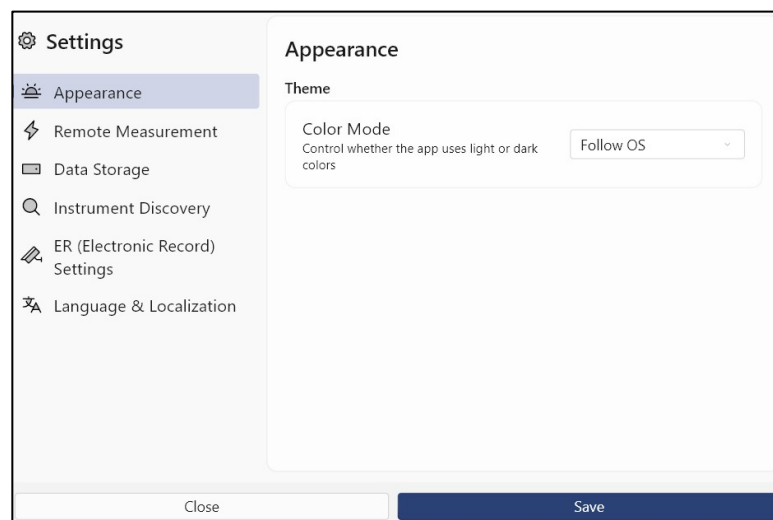


図42. Quality Centralの設定

左側のパネルからカテゴリを選択して、その設定を表示および更新します。「**保存**」をクリックして変更を適用するか、「**閉じる**」をクリックして設定ウィンドウを閉じます。

外観

「**外観**」設定では、アプリケーションのテーマを設定できます。「**カラーモード**」を使用して、Quality Centralで明るい色と暗い色のどちらを使用するか、またはWindowsの設定に従うかを制御します。

リモート測定

「**リモート測定**」設定では、リモート測定に使用される Quality Central PC の名前を設定できます。

[リモート表示名] フィールドに名前を入力してください。この名前は、PC をリモートで識別するために使用され、計測器が Quality Central に接続されたときに計測器の画面に表示されます。

たとえば、「リモート表示名」が「Quality Central PC」に設定されている場合、リモート測定中は計測器の画面に「Quality Central 経由で接続中 (Quality Central PC)」と表示されます。

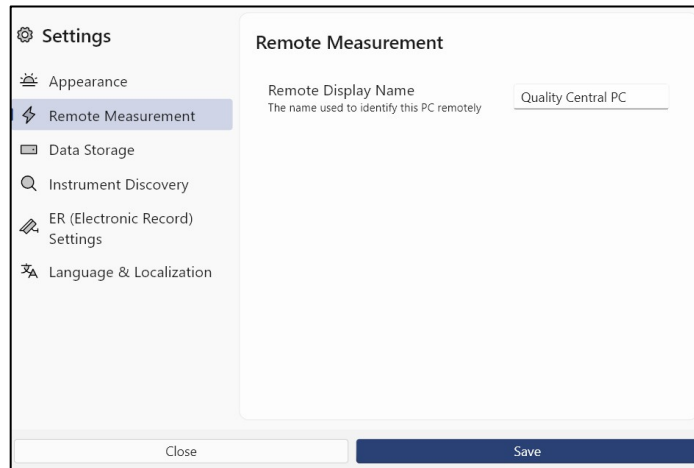


図 43. リモート

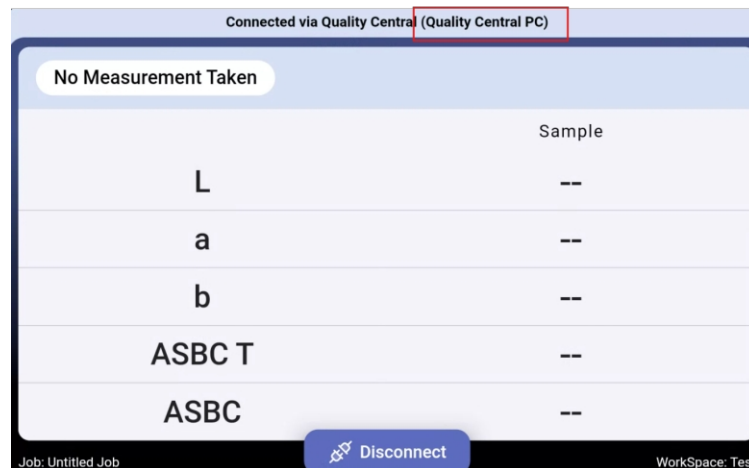


図 44. Quality Central への接続

データ保存

「データ保存」設定では、Quality Central が使用する保存ディレクトリを確認および更新できます。

現在の保存ディレクトリは、「保存ディレクトリ」フィールドに表示されます。「選択」をクリックして、別のフォルダの場所を選択してください。

機器の検出

Quality Central は、UDP マルチキャストを使用して、実行中の PC のすべてのネットワークインターフェース上の L2 計測器を検出します。つまり、Quality Central が検出できるのは、同じサブネット上の L2 計測器のみとなります。ネットワーク構成によっては、計測器が接続されているネットワーク（かつ、PC がトラフィックをルーティングできるネットワーク）に対して、カスタムブロードキャストアドレスを指定する必要がある場合があります。たとえば、VPN 経由で接続している場合で、

異なるブロックでIPアドレスを割り当てるVPN経由で接続している場合でも、デバイスが属するサブネットへのトラフィックをルーティングできる場合は、

「カスタムブロードキャストアドレス」を有効にします。

- 計測器ネットワークのブロードキャストIPアドレスを入力します。
- Quality Centralは、このアドレスを使用して機器の検出を行います。

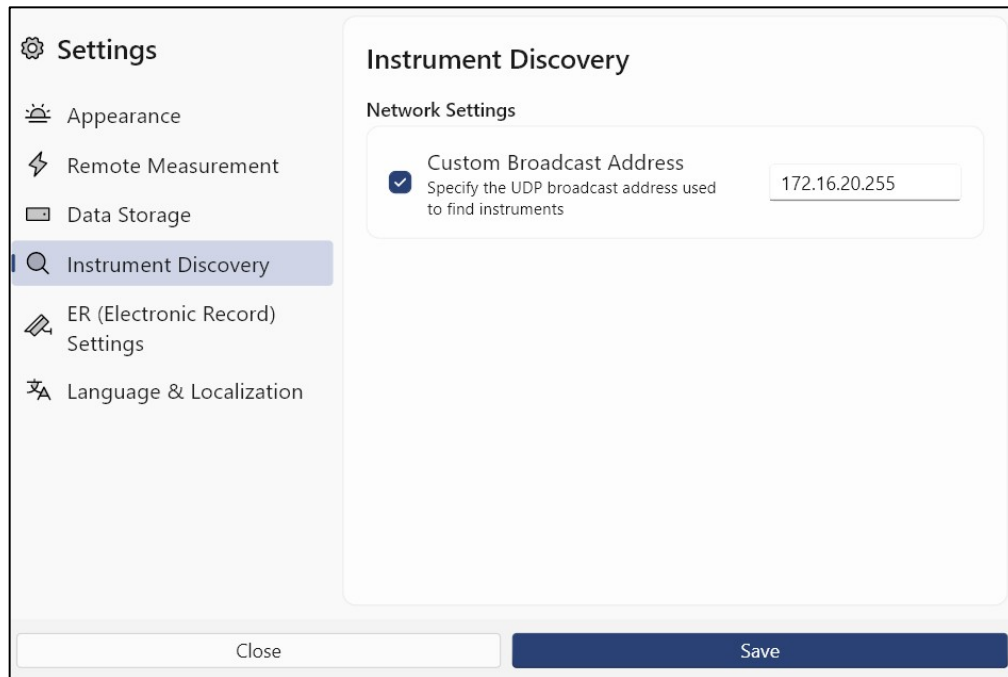


図 45. ネットワーク設定

言語と地域設定

[言語とローカライズ] 設定では、アプリケーションの言語および地域形式を設定できます。

[システムの言語を使用] を選択すると、Quality Central はオペレーティングシステムの言語、数値、日付、および時刻の形式に自動的に合わせます。

また、[システム言語を使用] のチェックボックスをオフにして、Quality Central で [アプリケーション言語]、[数値形式]、[日付形式]、[時刻形式] の各設定を行うこともできます。

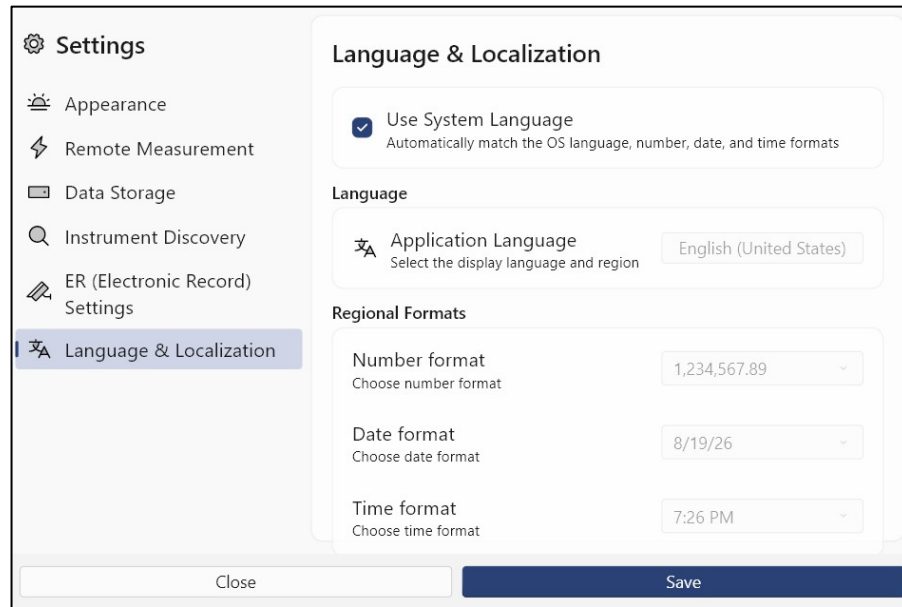


図 46. 言語とローカライズ

計測器設定

[**機器設定**] ページは、[**設定**] リストからアクセスできます。このページでは、接続された機器情報の表示、Essentials L2 ソフトウェアの更新ファイルやライセンスファイルの送信、および機器レベルのオプションの設定を行うことができます。

「**機器設定**」を開くと、Quality Central はネットワーク上の利用可能な機器に接続するようユーザーに促します。機器が接続されると、「**機器について**」ダイアログに、機器の種類、シリアル番号、IP アドレス、ソフトウェアバージョン、ファームウェアバージョン、有効なライセンス、および利用可能な機器設定が表示されます。

[**更新/ライセンスの送信**] セクションで、[**ファイルの選択**] をクリックして、Essentials L2 のソフトウェア更新ファイルまたはライセンスファイルを選択します。[**更新/ライセンスの送信**] をクリックすると、選択したファイルが接続された計測器に送信されます。ソフトウェア更新ファイルが選択された場合、Essentials L2 が更新されます。ライセンスファイルが選択された場合、Essentials L2 でライセンスが有効化されます。

「**INSTRUMENT SETTINGS**」セクションでは、「**DISABLE LOCAL MEASUREMENT**」を選択できます。このオプションを有効にすると、測定は Quality Central からのみ開始可能となり、機器画面からのローカル測定は無効になります。

「**アクティブな Essentials ライセンス**」セクションには、EasyMatch Quality Central など、接続された計測器で利用可能なアクティブな Essentials ライセンスが表示されます。

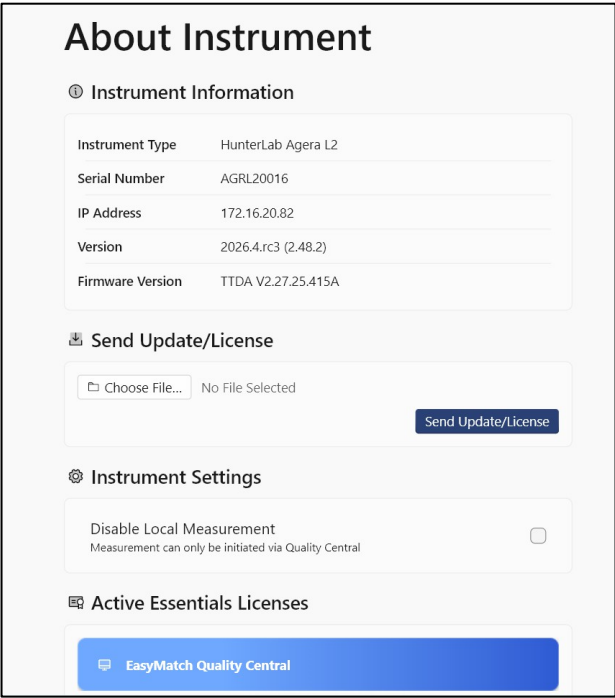


図47. 機器について



図 1. ライセンスの有効化	9
図2. データ保存の設定	9
図3. Quality Centralの主要な概念	10
図4. 顧客ネットワークへの接続	10
図5. ローカルネットワークへの接続	11
図6. イーサネットの直接接続	11
図7. 計測器ライブラリの作成	12
図9. センサーの選択と保存	13
図9. 測定項目と計測器の選択	13
図10. アクセスコードの取得	13
図11. アクセスコードの入力	14
図12. 標準化	14
図13. アクセスコードの取得	15
図14. Quality Centralで測定を有効にする	16
図15. 測定器の接続と標準化	16
図17. 機器の接続と標準化	16
図17. EZ View	17
図18. 機器からの取り外し	17
図19. ローカル測定の無効化	18
図20. Essentials L2待機画面 — ローカル測定が無効	18
図21. Quality Centralライセンス	19
図22. Essentials L2の更新が必要	19
図23. 同期された計測器	19
図24. 同期化済みと非同期化済みの比較	20
図25. ライブラリ	21
図26. ファイルのインポート	22
図27. ワークスペースメニュー	24
図28. ワークスペース・ウィザード	24
図29. Quality Centralウィンドウ	26
図30. カラーデータ テーブル表示／編集表示	28
図31. マルチタイルデータビュー	28
図32. 1つのジョブ内の異なるカラーデータテーブル	29
図33. コピー	30
図34. エクスポート条件	31
図35. エクスポートジョブ	32
図36. 設定	33
図37. ソフトウェアの更新を確認する	34
図38. 更新プログラムの表示	34
図39. ファイル同期を有効にする	35

図41. ファイル同期	36
図42. Quality Centralの設定	37
図43. リモート	38

図44. Quality Centralへの接続 38

図45. ネットワーク設定 39

図46. 言語と地域設定 40

図47. 機器について 41

索引

- ライセンスの有効化、8
- 楽器ライブラリの追加、14ライブラリ
の追加、26
- アイコンの折りたたみ、27
- コンピュータの要件、8顧客ネットワークへ
の接続、10ローカルサーバーへの接続、11
イーサネットを使用した接続、11
- 測定値のコピー、30現在のジョブ情報、
27カスタムブロードキャストアドレス、
39データ保存、38
- 計測器上のデータ保存、12PC 上のデータ保
存、12
- データビュー、26
- 機器からの切断、17 EasyMatch Central の説
明、7 ビューの編集、27
- アクセスコードの入力、14、16
- エクスポート、31
- 測定値のエクスポート、30インポートさ
れたジョブファイル、22Quality Central
のインストール、9機器ライブラリ、22
- 機器の設定、40
- 必要なアイテム、8
- ジョブ、25
- 言語と時刻形式、39
- EasyMatch Quality Central の起動、10ライブラリ、21
ライブラリー一覧、26
- 測定、13、14、16
- 測定リスト、26
- アクセスコードの取得、13、14ライブ
ラリタブの開く、27
- PC ライブラリ、21
- Quality Central ライセンス、8Quality
Central の設定、37リモート表示名、37
- 同期の再開、36
- 安全上の注意、2
- 測定値の選択、29
- 設定、26
 - 外観、37
 - リモート測定、37データ保存の設定
、9ソフトウェアのダウンロード、8
ソフトウェアのバージョン、27
 - 同期インジケータ、23
 - 同期された計測器、19Quality Central の
更新、33ワークスペース一覧、26
 - ワークスペース メニュー、23
 - ワークスペース・ウィザード、24

